

できることは全部やろう 任せられるプロ目指す

福光運輸株式会社
代表取締役

山下 重雄 氏



長距離トラックによる地場企業の荷役集荷、全国配送から始められ、倉庫業など総合物流企業に発展させられました。

1960年に創業した当社は、元々は三協アルミ（現・三協立山）福光工場だけを顧客とする小さな運送屋でした。1985年から私が経営参加し、飛び込み営業を始めました。通常はトラック1台1日いくらで契約するところを距離単価に変え、あらゆる荷物とその前後の

仕事も引き受ける提案を行ってきた結果、現在、直接のお客様は県内外で約50社になります。

2003年にトラサム運行管理システムを導入され、翌年にグリーン経営を取得されました。

車の運行効率を上げるため、管理システムを導入しました。これはGPS（人工衛星）を使って、走行車両の状況を管理できるもので、燃費から、速度、荷下ろし中であるとか全部分かり、効率的な

運転、配車が可能になりました。長距離トラック約40台全部についています。また、グリーン経営はISO 9000や14000の代わりに取得したもので、環境負荷の少ない経営の認証です。

—倉庫管理でパイプ強く—

2001年に小矢部市鳴島に倉庫を新築され、倉庫業にも業務を広げられました。

運送だけではどうしても運賃関係で負けるところもあり、倉庫での荷物の管理を始めました。お客様の負担が減り、当社とのコミュニケーションが強くなり、お互いにメリットが出ています。

トヨタのカンバン方式に象徴される、必要な時に現場へ部品を運ぶことが物流の主流になっています。

大都会のメーカーは自社で倉庫を持っているケースが多かったが、バブル期以降、経費削減から外部に依頼するようになりました。当社はこのニーズに対応し、倉庫管理から集荷・配送まですべてを請け負う総合物流を開始しました。まず、小矢部に倉庫を造り、4年後には現在地に本社社屋と倉庫を新築移転しました。

倉庫の運営管理はどのように？

お客さんによって全部違います。自前の倉庫は4,000坪、その他大沢野、高岡、富山、婦中、砺波に6,000坪強を借りて保有しています。今、預かっているのはコマツNTCさんの機械や部品関係です。元々は部品倉庫を持っておられたのですが、組み立てに特化されることになり、部品センターは当社の倉庫でやっています。また、どうせなら管理もしてほしいとの依頼を受け、入出庫も当社で行うようになりました。

—機械組み立て員が運送—

一般労働者派遣業、自動車分解整備事業、工場内床清掃などの請け負いを始められたのは？

お客様とのお付き合いが深まる中で、運送以外の業務について相談を受けるようになり、請け負いを始めました。NTCさんの場合、天井クレーンのオペレーターやリフトマン、梱包作業員、解体作業員など、特殊技術を持った専門職を派遣しています。組み立ても総組みまでやらせて頂いています。試運転して分解、梱包してトラックに積み、現地へ運んで据え付けまで全部当社がやります。総組みした人間が運転してお客様に渡す。そこまでやっている運送業者は県内では1~2社しかないと思います。また、機械を組み立てて出荷した後の床の掃除を、当社が機械を持ち込んで行っています。産業廃棄物収集運搬業もされ、お客様の要望に応えられながら事業を拡大されていった歴史ですね。

運送に関して「できることは全部やろう」ということが私のモットーです。産業廃棄物も当社のお客様が処理されるものを県外から回収してきます。

教育、人事管理、研修が大変と

思います。

毎月第1日曜日に本社で全体会

— 略 歴 —

1954(昭和29)年5月生まれ。南砺市(旧福野町)出身。福野中学卒業後、大工や運転手勤めを経て、22歳で独立。1985年に福光運輸へ専務で入り、1998年から現職。

議を開いています。「お客様に喜んでもらえる作業をするための会議」です。社員160人のうち当日の作業員などを除き、全員が出ます。毎月、色々な出来事があり、お客様の仕事も変わる、その報告とともに、事故が発生した場合は反省会をします。同じ事故を起こすことがないように、事故当事者が運行管理者と検証し事故内容と対策を発表します。その対策が不十分な時、さらに全員で事故を分析し、意見を出し合います。クレーム処理もあります。最後は部門別に専門会議を開いて終了します。

—植物工場も試行—

植物工場も試行されています。今後の見込みは。

富山大学と共同研究を始めてまだ3年目ですが、空いている車庫内に設備を導入し、シートで囲んで空調の上、アイスプラントという野菜を深層水で育て、料理屋さん向けに出荷しています。実は当社はとみな野農協からタマネギの生産を受託しており、種の芽出し、植え付け、収穫、選別、箱詰め、出荷、すべて当社から派遣してやっています。植え付けの11月から翌年6月の収穫期まで仕事がないので、その間に、働いて頂きたい人の仕事の確保と、人件費分が出ればと取り組んでいます。



毎月開催している全体会議

雇用も考えた経営ですね。

運送業は出入りが激しい業界ですが、当社に入れば65歳まで働き続けられるようにしたいと、色々な事業にチャレンジしてきました。運転手として入社したが、トラックの運転ができなくなっても、倉庫の中で組み立てやリフトの運転など、本人の希望を汲みながら、仕事を続けられるようにしています。目指されている「まかせて良かった」と言われる総合物流企業になるために心掛けていることは。

新規受注する時は、全体で話し合いをし、まず幹部に完全に仕事を理解させてから最適な担当者を決めます。スタッフ説明会をきちんとやってから仕事にかかります。発注元の企業が一番のプロですが、私どもは色々な企業とお付き合いする中で様々なノウハウを持っており、仕事を進める中で提案していくことで信頼関係が育っていきます。その意味で「自分たちもプロだと思ってほしい」と社員には伝えています。「当社から外したお客さんはあるが、お客さんから断られたことはない」というのが私の自慢です。

会社概要

福光運輸株式会社

創 業：1960年12月

所 在 地：南砺市苗島65

資 本 金：6,000万円

事業内容：自動車運送取扱業・代弁業、重量物搬入出据付作業、一般労働者派遣業、産業廃棄物収集運搬業、引越作業及び輸送、工場清掃、倉庫業

従業員数：160人(2012年9月現在)

売上高：21億8,000万円

(2011年度グループ全体)

保有車輛数：109台

関連会社：北陸ローディング(株)、富山麻袋(株)

U R L：http://www.fukumitsuunyu.co.jp/